

HD導入間もない患者の自己管理の理解や意識について

(医)一心会上尾中央腎クリニック内科(人工透析)¹⁾

○鈴木 恵理香¹⁾, 岩城 智美¹⁾, 間篠 真器¹⁾, 三瓶 佐知子¹⁾, 高波 智恵美¹⁾,
内田 幾代¹⁾, 後藤 哲司¹⁾

【目的】入院中の HD 導入時の生活指導が退院後どの程度理解され、定着しているか調査し、今後の生活指導に役立てる。

【方法】HD 導入1年未満の患者に対し、アンケートによる聞き取り調査を行い、集計、分析する。栄養面においては塩分、K データーとの比較検討を行う。

【結果】HD 導入1年未満の患者で DW、水分管理、シャント、栄養について理解し、自己管理の意識のある人は少人数であった。

【考察】日常生活指導が理解されていない背景として、HD 導入直後は、精神的、肉体的に不安定な状況であり、様々な指導が行われても、十分理解する余裕がないこと。又、入院中は尿量確保されており、体重増加も少ないことから DW が変動し、水分摂取量の設定等も困難であることなどが考えられた。退院して維持透析に入り、精神的、身体的にも安定してきた時期に、生活の変化に応じた指導も重要であると考え、今後の当院での生活指導に役立てたい。